

CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月6日時点)

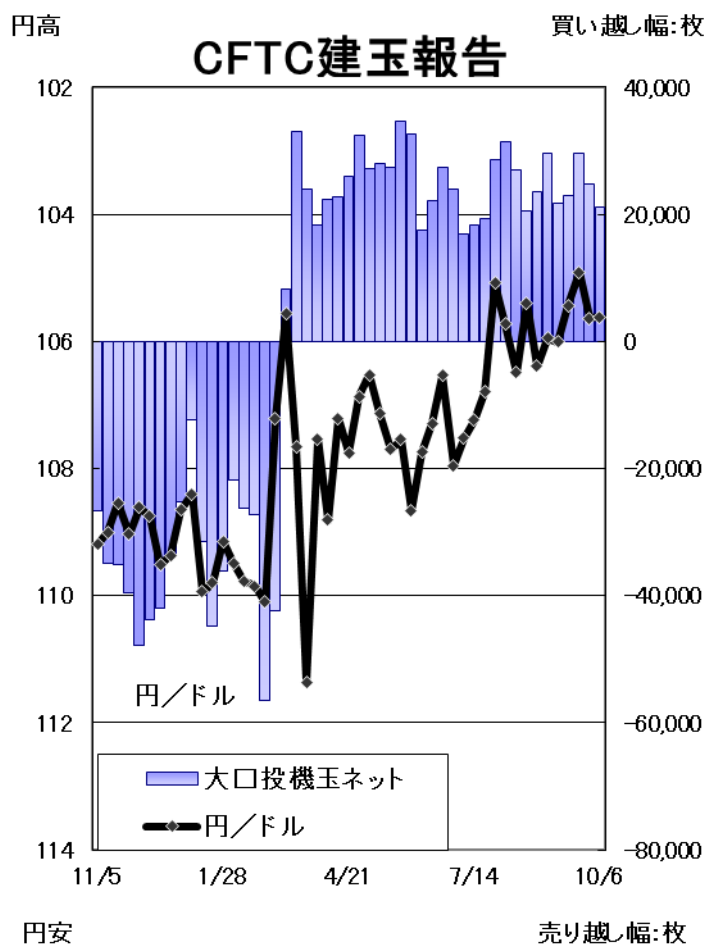
米商品先物取引委員会(CFTC)が9日に発表した建玉報告によると、6日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の買越幅は2万1102枚となり、前週と比べ3687枚縮小。期間中に、投機筋は買いポジションを減らし、売りポジションを増やした。

期間中の円(対ドル)は堅調。国際通貨基金(IMF)のゲオルギエワ専務理事は6日、世界経済の回復が想定を上回ったと指摘し、「2020年の見通しをわずかに上方修正する」と述べた。ただ各国は「長く険しい坂に直面している」とも語り、厳しい回復局面を警告した。また、米連邦準備制度理事会(FRB)のパウエル議長は6日の講演で、景気回復ペースの鈍化や追加景気対策の必要性を指摘し、事実上ゼロ金利の長期維持を示唆するとともに、追加の新型コロナウイルス経済対策の早期実現を政府と議会に促した。その後、トランプ米大統領が新型コロナウイルス危機に対応した追加経済対策について、11月3日の大統領選挙までの協議打ち切りを指示したと表明。安全資産とされる円への買いが強まり、週間ベースでは円高ドル安に振れた。

期間中のユーロ(対ドル)は軟調。大口投機筋の買越幅は17万4308枚となり、前週比1万3808枚縮小。

欧州中央銀行(ECB)のレーンECB専任理事兼主任エコノミストは6日、インフレ目標を確実に達成するために、新型コロナウイルス感染拡大による苦境を脱した後も、ECBは政策を十分に緩和的に維持する必要があると述べた。また、英国と欧州連合(EU)の貿易交渉が難航していることも、ユーロの弱材料となった。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
06/09	107.74	17,462	1.1336	95,649
06/16	107.29	22,110	1.1262	117,132
06/23	106.53	27,458	1.1306	118,448
06/30	107.95	23,861	1.1232	98,955
07/07	107.52	16,812	1.1271	103,597
07/14	107.24	18,326	1.1399	110,912
07/21	106.79	19,307	1.1523	125,047
07/28	105.08	28,507	1.1716	157,559
08/04	105.73	31,429	1.1798	180,648
08/11	106.49	27,016	1.1738	199,751
08/18	105.39	20,584	1.1934	196,943
08/25	106.39	23,616	1.1835	211,752
09/01	105.95	29,604	1.1910	196,747
09/08	106.01	21,742	1.1779	196,814
09/15	105.43	22,889	1.1845	178,576
09/22	104.91	29,581	1.1706	190,822
09/29	105.64	24,789	1.1742	188,116
10/06	105.62	21,102	1.1734	174,308
前週比	-0.02	-3,687	-0.0008	-13,808



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員
当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266(平日 8:30~17:00)、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。